

第七十五回帝國議會
衆議院

輸出資金及輸出品製造資金融通損失補償法案委員會議錄(速記)第八回

會議

昭和十五年三月九日(土曜日)午前十時三十分開議

出席委員 左ノ如シ

委員長 井上 知治君

理事 西田 郁平君 理事 古田喜三太君

理事 會和 義式君

津原 武君

小畑虎之助君

川島正次郎君

宮本雄一郎君

世耕 弘一君

須永 好君

松村 光三君

最上 政三君

川副 隆君

野方 次郎君

星 一君

小串 清一君

池崎 忠孝君

藤原銀次郎君

加藤鏖五郎君

牧 楯雄君

妹川 武人君

本日の會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

損害保險國營再保險法案(政府提出)

輸出毛織物取締法案(政府提出)

井上委員長 是ヨリ開會致シマス——西

田委員

○西田委員 商工組合中央金庫法中改正法律案ニ付キマシテハ、討論ヲ省略シテ可決

サレンコトノ動議ヲ提出致シマス

○井上委員長 西田君ノ動議御異議アリマ

セスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○井上委員長 ソレデハ商工組合中央金庫法中改正法律案ニ付キマシテハ、討論ヲ省略シテ可決確定スルコトニ致シマス

○井上委員長 次ニ損害保險國營再保險法案ニ付キマシテ質疑ヲ續行致シマス——松村君

○松村委員 第一ニ國營、官營ノ根本問題ニ付テ伺ヒマス、現時ノ我國ニ於テ革新政策ノ特ニ必要ナルハ勿論デアル、唯産業其ノ他各般ノ官營、國營即革新政策ナリト漫然解釋スル者ガ多イケレドモ、政治ノ理想ト現實ノ調和デアリ、抽象的ノ「イデオロギー」デハ解決出來ナイ、之ヲ實際ニ付テ見マシテモ、我國ノ官營事業中成績ヲ舉ゲテ居ルモノハ、辛ウジテ鐵道ノミデアル、ソレモ世界的比較ヲ取ラバ、再檢討ノ餘地ガアル、兎ニ角鐵道ダケデアル、其ノ他ノ煙草、鹽、通信特別會計ノ電話等、政府ノ官營、國營事業ハ成績概シテ不良デアリ、又外國デモ伊太利ノ官營生命保險ノ如キハ、民營ト併用シテ居ルガ成績不良、獨逸ノ加

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)(第七號)
損害保險國營再保險法案(政府提出)(第八號)
商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)(第九號)
輸出毛織物取締法案(政府提出、貴族院送付)(第八號)

里、石炭國有化モ失敗、英吉利ノ石炭國有化モ同様、ソコデ英吉利ノ労働黨ノ如キスラ、多年ノ主張タル石炭、銀行其ノ他ノ官營案ヲ、今日デハ拋棄シテ居ル、「ギルド」社會主義ノ「コール」ノ如キ者デサヘモ、舊來ノ主張ヲ變革シテ居ル、唯今次戰爭ノ前後カラ、佛蘭西其ノ他デ軍需工業ノ國有化又ハ國家管理ノ問題ガ起ツテ居ルケレドモ、是ハ特殊ノ事情ニ基クモノデアル、斯ノ如ク漫然官有、國有ヲ主張スル者ハ多イケレドモ、其ノ本質ハ所謂公共の事業「パブリック・ユティリティ」ノヤウナモノ、我國將來ノ問題トシテハ、米專賣ノ如キ特殊ナル事業ニ其ノ限度ヲ置クベキデアリ、一般ノ專門の技能ト個人ノ專門の創意ヲ基調トスルヤウナ産業ニ付テハ、漫然國有、官有ヲ唱ヘルコトハ甚ダ不適當ト思フガ、商工大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○藤原國務大臣 松村君ノ御述ニナリマシタ御議論ニ付キマシテハ、洵ニ御尤モト傾聴致シマシタ、今日ノ體制ヲ考ヘテ見マスレバ、此ノ時局デアルガ故ニ、各般ノ事業中ニ國家管理ニ移シタリ、或ハ國營トシタリスルコトガ必要デアルト云フ議論モ澤山ゴザイマスコトハ、松村君ノ御承知ノ通りデアリマス、又時局デアルガ故ニ、混亂ヲ惹起シテハ現在ノ國家ノ爲ニナラナイ、成ベク混亂摩擦等ヲ少クシテ、此ノ時局ヲ

乘切ラナケレババイカスト云フ議論モ相當有力デアリマスコトハ、是亦御承知ノ通りデアリマス、ソコデ兎ニ角政府ト致シマシテハ、一面ニ於テ、我國ノ民業ヲ爲助長發達セシメナケレバナラナイト云フコトヲ、十分ニ考ヘテ居リマスガ、ソレ故ニ此ノ時局ヲ乘切ル爲ニ徒ニ理想ニ囚ハレ、サウシテ現在ノ國家ノ産業ニ混亂ヲ惹起シタリ、摩擦ヲ惹起シタリシテ、三年モ五年モ種々ノ障礙ニ際會スルト云フヤウナコトハ、成ベク避ケタイト存ジテ居リマス、其ノ結果トシテ、一般ノ企業ヲ國營ニ移スト云フヤウナコトハ、十分慎重ニ考慮シテ、其ノ上ニ致シタイ、斯ウ云フ積リデ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 大體官營、國營ノ本質カラ見マシテモ、各國ニ於ケル成績カラ見マシテモ、理想ノヤウナ好果ヲ舉ゲテ居ラスノデスカラ、此ノ點ハ十分ノ考慮ト同時ニ、其ノ根本問題ニ付テ一層ノ檢討ヲ煩サナケレバナラスト思フノデアリマス、第二ニ、先程申シマシタ通り、鐵道以外ニ日本ノ國有官有ハ成績ヲ舉ゲテ居ラナイ、是ハ事實デアル、又最近頻發スル各種ノ國策會社モ、必ズシモ豫期ノ效果ヲ舉ゲテ居ラスノミナラズ、日本發送電及ビ電氣廳ノ如キハ、洵ニ理想ト現實ノ特ニ懸離レタ結果ヲ如實ニ示シテ居ル、ドウシテ斯ル缺陷ヲ現ハスカ

ト云フ、要ハ我國行政機構、殊ニ文官任用令等ニ拘束セラレテ、専門的經驗者ノ知識手腕ヲ自由ニ發揮シ得ザル現狀ガ、根本的ノ缺陷デアル、此ノ問題ハ豫算總會ニ於テ米内總理モ認メラレテ、近ク文官任用令ノ改正ニ付テ考究檢討スルト、明確ニ答辯ガアリマシタガ、併シ日本ノ行政機構ト文官任用令其ノ他ノコトハ、長イ間ノ宿弊デアリ、總理ガ幾ラ言明サレテモ、之ニ多クノ期待ヲ掛ケ得ナイ、是ガ今日ノ國策會社一般共通ノ根本的缺陷デアリ、容易ニ此ノ問題ハ除去サレナイ、此ノ根本問題ガアル以上ハ、各種ノ官營、國營ト云フモノハ成績ガ舉ラナイ、是等ノ點ニ關シテ商工大臣ハドウ考ヘラレマスカ

○藤原國務大臣 御尤モデ、其ノ點ニ付テハ、若シモ政府ガ一般ノ企業ノ中デ、或ハ國營ニ移シ若クハ國家管理ニ移シマシテ、サウシテ政府自ラガ企業ノ實行ヲ致スト云フコトニ、大體ノ方針ヲ進メテ、サウ云フ決心ヲ持ツテ參リマススレバ、只今御指摘ニナリマシタヤウナ官吏制度ト云フヤウナモノヲ、根本的ニ改正致シマシテ、企業ニ適當ナル人材ヲ養成シ、又其ノ人材ヲシテ其ノ局ニ當ラシメテ、其ノ企業ノ十分ナル發達ヲ遂ゲルト云フヤウナ組織ヲ作ルコトガ、最モ必要ナコトト存ジマス

○松村委員 只今ノ御答辯ハ洵ニ御尤モデアリマスガ、事實ハ是ガ出來得ナイノデアアル、總理大臣ヤ商工大臣ノサウ云フ答辯ガアツテモ、事實多クノ期待ガ出來ナイ、モウ何十年間斯ウ云フヤウナコトヲ繰返シテ居ル、ソレデアアルカラ監理局長ノ答辯ノ中ニモ、此ノ法案通過ノ曉ニハ、監理局ニ一ツノ課ヲ設ケテ、民間ノ専門家ヲ囑託ニ

スル、囑託ニスル位ナ程度ノコトシカ出來ナイト云フコトヲ、監理局長モ言明サレテ居ルノデアリマス、本法ノ運用上カラ申シマシテモ、更ニ全般ノ國策會社、官營、國營事業運用ノ上ニ於キマシテモ、是ガ根幹ノ問題デアリマス、是以上ハ質疑ヲ致シマセヌガ、商工大臣ニ於カレマシテモ、總理ノ答辯ノ趣旨ト同様ニ、是ハ本格的ニ根本改善策ヲ樹テラレンコトヲ、特ニ要望致シテ置キマス、ソコデ第三ニ移リマスガ、損害保險國營再保險ニ付テ、現行ノ應急制度ノ立法化ヲ其ノ根本要旨トナシ、即チ本法第一條第一項ノ前段ヲ飽クマデモ本體トナシ、其ノ後段即チ戰爭ノ事由終了後ノ狀況ニ依リ、外國再保險ヲ困難又ハ不適當トスルヤウナ場合ハ、極メテ稀ノ稀ナル場合デアアルカラ、是ハ實行セヌ方針デアアル、換言スルナラバ、戰時再保險ヲ本義トシテ、普通再保險ハ、大體極メテ稀ノ稀ナル場合ノ外ハ、原則トシテ實行セヌ方針ダト云フコトヲ、局長カラ答辯サレテ居リマスガ、是ハ左様了承致シテ宜シウゴザイマスカ

○藤原國務大臣 一般損害保險ノ再保險ヲ行フ場合ハ、只今御質問ノ通り、極メテ稀ノ場合デアリマスカラ、御質問ノ通り左様デゴザイマス御答申上ゲマス

○松村委員 第四ニ移リマス、隨テ單純ナル爲替政策ナドノ見地カラ、本法ヲ實施スル意思ハナイト、解釋致シテ宜シウゴザイマスカ

○藤原國務大臣 從來保險會社ガ自治的ニ外國再保險ニ對シテ、國際收支改善策ヲ考ヘテ、之ヲ實施致シマシテ成績モ宜シイノデアリマスカラ、政府ニ於キマシテモ、出來ルダケ之ヲ指導助長スルコトニ依リマシテ、其ノ目的ヲ達シ得ルト思フノデアリマスカラ、單ニ爲替政策ノ見地カラ、國營再保險ヲ行フト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 第五、ソコデ提案理由ノ説明ノ際ニモ、外國再保險ヲ困難又ハ不適當ノ場合ニ、業者並ニ被保險者各方面ニ支障ナキヤウ、本法ヲ行フト云フコトヲ、理由ノ根本義ニ述ベラレテ居リマス、果シテ外國再保險ガ困難又ハ不適當ノ場合ニ、支障ナキヤウニスルト云フノデアアルナラバ、保險業者ガ其ノ實力ノ範圍内ニ於テ可能ナル場合、又此ノ前ノ歐洲大戰ノ時ニ、八割ノ再保險ヲ實行シタ先例ノ如キ、或ル程度ノ範圍内ニ於テ契約ノ保有ヲ許ストカ、又ハ政府ガ頻リニ宣傳スル如ク、政府デナケレバ安イ保險料デ引受出來ナイト云フナラバ、政府ノ公定保險料ヨリモ、モツト安く、公定料ニ下テ民間ガ保險契約ヲ爲サウト云フ場合ニ、其ノ自由ヲ許サレルコトハドウカ、此ノ二點ニ付テ御答ヲ願ヒマス

○藤原國務大臣 政府委員ヨリ或ハ御答ヲ申上ゲタカトモ存ジマスガ、二ツノ場合ニ付キマシテ、只今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、戰爭保險ノ再保險ヲ行ヒマス時ニハ、國ハ保險會社ノ獨力デ及バナイ場合ニ、戰爭保險料ノ昂騰ヲ抑制シ、及ビ戰爭保險ノ引受確保ノ爲ニ、再保險ヲ行フノデアリマスカラ、保險會社ノ引受ケタル保險——戰爭保險ノミニ付キマシテハ、全額ニ付再保險ヲ行フト原則ト致シタイノデアリマス、次ニ普通保險ノ再保險ヲ行フトキニハ、保險會社ノ引受ケマシタ普通保險ノ大部分ヲ、政府ヘ再保險ニ付ケシムル

ガ如キ意圖ハナインデアリマス、再保險實施ノ必要ノ起リマシタ際ニ、其ノ時ノ事情ニ基キマシテ、具體案ヲ定メタイト考ヘルガ、此ノ再保險ハ、保險會社ノ力ノ及バナイ所ヲ行フト目的トスルノデアリマスルカラ、ソレニ必要ナ程度ニ止メルコトハ勿論デアリマス、大體是デ御諒承ヲ願ヒタイ

○松村委員 是非非常ニ大キナ問題デ、獨力デ及バヌ場合ト、斯ウ頻リニ政府委員モ大臣モ答ヘテ居ラレル、獨力デ及バナイ場合デアアルカナイカト云フコトハ、一方ノ判斷認定デハイケナイ、日本ニモ世界的國際的ノ大會社ガアツテ、獨力デ爲シ得ル、獨力デ爲シ得ルノミナラズ、政府ハ安イト言フガ、政府ノ料金ハ高イカラ、ソレヨリモツト安く俺ノ方デヤルノダ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ツタ場合ニ、サナキダニ此ノ再保險ト云フモノハ、過日モ申シマシタ通り、英吉利ノ如キハ危險ノ變化ニ即應ジテ、一週間ニ一遍位ツツ度々料率ヲ變ヘタコトガアル、是ガ又國際的ナル業界ノ一ツノ進歩デアアル、所ガ日本政府ガヤリマス、一遍決メタコトハ高クテモ容易ニ安くシナイ、結局政府ハ安くスルノト言ツテ、其ノ結果ハ政府ガ利益ヲ壟斷スル、高イ料金ヲ決メテ居ツテ安くシナイ、然ルニ政府ヨリモツト民間ガ安くスルト云フ場合、之ヲ認メルノハ、貿易發展上非常ニ必要ナコトデアアル、ソレモ大體政府ガ認メナイヤウナゴトデアレバ、政府ガ本案制定ヲ誇大ニ主張スル理由ハドウモ分ラナイ、繰返シテ言ヒマスガ、政府ハ一番安イト言フガ、併シモツト安くスル方ガ宜イノダ、安く出來ルノダ、サウ云フ場合ニ、政府ハ公定率以下ノ

ガ如キ意圖ハナインデアリマス、再保險實施ノ必要ノ起リマシタ際ニ、其ノ時ノ事情ニ基キマシテ、具體案ヲ定メタイト考ヘルガ、此ノ再保險ハ、保險會社ノ力ノ及バナイ所ヲ行フト目的トスルノデアリマスルカラ、ソレニ必要ナ程度ニ止メルコトハ勿論デアリマス、大體是デ御諒承ヲ願ヒタイ

契約ヲ認メナイ方針デアルカ、又事實サウ云フヤウナ場合ニ、政府ノ答辯デハ、頻々ト變ヘルコトハ、却テ貿易ヲ阻碍スルト言フガ、頻々ト變ヘルコトハ、阻碍スルトコトデナイノデス、危險ノ實情ニ應ジテ英國ノ如ク契約料金ヲ變ヘルコトハ、非常ニ貿易ヲ發達セシムル所以デアルカラ、安ク出來得ル場合ハ、頻々ト變ヘルコトモ差支ナイ、此ノ點ニ關シテ、政府委員カラデモ宜シウゴザイマスガ、明白ニ御答辯ヲ煩ハシテ置キマス

○牧政府委員 御尋ノ點ハ度々御答申上ゲテ居リマシタガ、實ハ戰爭保險ニ付キマシテハ、成ベク船舶政策ノ見地カラ、安クシテハ輸出振興モ出來ナイシ、船舶ノ廻航ニモ困ルト云フデアリマシテ、一方戰爭ノ危險ハ増大スル、増大スル危險ニ對シテハ、保險料ヲ高クシテハナラヌト云フ事情ガゴザイマス、貿易海運政策カラハ安クシロト云フ、其ノ間ノ調整ヲ圖ル爲ニ、政府ガ採算ヲ度外視シテ保險料デ、戰爭保險ヲ引受ケルト云フヤウナコトニシヨウト云フノガ、昨年カラヤツテ居リマスル制度ノ根本趣旨デゴザイマス、隨テ其ノ保險料ハ、非常ニ理窟メク話デハゴザイマスガ、採算ヲ度外視シテ保險料デアルベキデゴザイマス、ソコデ採算ヲ度外視シテ保險料デ、保險會社ガ獨力ヲ以テ之ヲ引受ケ得ルト云フコトガ、甚ダカシナコトニナル譯デアリマス、若シ其ノ保險料以下デ引受ケ得ルモノトスレバ、政府ハ尙ホソレ以下ニ保險料ヲ下ゲナクテハナラヌト云フ話ニナルノデアラウト思ヒマス、隨テサウ云フ風ナ安イ保險料デ保險會社ガヤルト云フコトハ、此ノ保險業本來ノ性質デナイ、謂ハ

バ附帶的ノ事業デアル、戰爭保險ニ依ツテ却テ損失ヲ見ルト云フヤウナコトハ、避クベキデアラウト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス、隨テ今大臣ガ申上ゲタ通りニ、原則トシテハ、戰爭保險ニ付テハ全額ヲ再保險ニセシメタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松村委員 只今ノ政府委員ノ答辯ハ諒解シ得ナイ、ト云フノハ、前ノ歐洲大戰ノ再保險ノ時ニモ、政府ハ非常ニ儲ケテ居ル、實際上採算ヲ度外視シテモ安クシテ居ルト云フヤウナコトデハナイ、再保險ノ方ハ儲ケテ居ル、今度ノ戰爭ニ於テモ、成程照國丸ガ沈ンダ後カラデアルケレドモ、政府ハ非常ニ儲ケテ居ル、採算ヲ度外シテハ居ラス、相當ニ儲ケテ居ル、サウスルト動モスルト政府ハ營利ノ爲ニ再保險ヲヤルノデハナイカト云フ疑サヘ起ル、度外視シテ安イナドト云フコトデハナイ、又サウ云フ安イ場合ハ政府ハ引下ゲスルト云フガ、現時ノ行政機構、官僚制度ノ下ニ於テ、此ノ世界的ナ、國際的ナ再保險競争場裡ニ立ツテ、後カラノト、之ヲ國際的ニ對處シテ上ゲ下ゲスル機宜ノ處置、敏活ナル處置ハ、政府ノ能クスル所デハナイ、ソコデ只今ノ御答辯デハ、ドウシテモ承服シ得ナイノデアリマスガ、果シテ政府ハ國際場裡ノ競争ニ應ジテ、簡明直截ニ、敏活ニ、保險料金ヲ將來必要ニ應ジテ下ゲル意思ト同時ニ、下ゲルコトヲ斷行スル用意アリヤ否ヤ、此ノ點ヲ伺ヒマス

○松村委員 速ニヤルト御答デアルガ、此ノ間モ申シマシタ通り、民間ナラバ英吉利カラ電報ガアリ次第直グ會議ヲ開イテ、其ノ國際情勢ノ變化ニ應ズルガ、政府ガ保險契約ヲ爲スノニ、進モ左様ナ敏活ナル行動ガ出來得ルナドト云フコトハ、吾々ハ毛頭想像シナイ、是以上質疑シテモ無意味デア

○松村委員 是ハ餘程考ヘナイト、所謂役人ノ仕事ニナルノデスカラ、敏活ナル處置ハ執リ得ナイノデアリ、國際的競争場裡ニ應ジ得ナイト云フヤウナ場面ヲ生ズル、殊ニ其ノ積荷ガ、日本ノ船舶ダケナラマダ宜イガ、本法ニ依リ南洋其ノ他カラ日本ヲ經由セズニ直接歐羅巴等ニ行ク備船モ、皆此ノ保險ノ目的ニナルノデアルカラ、此ノ國際場裡ニ立ツテ餘程敏活ナル處置ガ出來ル機構ヲ要スルニ拘ラズ、監理局内ニ僅ニ一課ヲ設ケル程度ノ、姑息ナル本案施行ノ狀態カラ見ルナラバ、私ハ此ノ敏活ナル處置ヲ執リ得ナイコトヲ非常ニ心配シテ居ル、是以上質疑致シマシテモ無意味ト思ヒマスガ、商工大臣ニ於カレマシテハ、此ノ國際競争場裡ニ立ツ再保險ノコトデアリマスルカラ、萬遺漏ナキヲ期セラレテ、役所ノ機構其ノ他ニ付テ尙ホ十分ナル再檢討ト御注意アラントヲ切望致シテ置キマス、ソコデ次ノ第六ニ移リマス、本法ハ商法六百二十九條、即チ政府ト業者トノ契約ニ依ルコトヲ本義ト致シテ居リマスガ、然ルニ本法ニハ第五條其ノ他各場合ニ於テ、政府ノ行政的ノ一方命令規定ガ多クアル、是ハ農業保險其ノ他ノ保險制度ノ先例ニ束縛サレ、法制局ノ技術的束縛ヲ受ケテ居ル、兎ニモ角ニモ是デハ多年ノ業界ニ於ケル商慣習ヲ破壞シテ、圓滑ナル事業ノ發展ハ期シ得ナイ、ソコデ假ニ斯ウ云フヤウナ各種ノ規定ガアツテモ、全般的ニ今日マデノ多年ノ商慣習ヲ政府ハ

○松村委員 第七ハ本法第十二條ノ規定デアリマス、是ハ商法第六百二十九條ノ保險契約ノ根本義ヲ案ル、一方的ノ命令規定デア

○藤原國務大臣 松村君ノ御質問ノ通りデアリマス、即チ此ノ第五條ノ適用ニ付キマシテハ、從來ノ商慣習ヲ十分ニ重ンズルト云フ積リデ居リマス

○松村委員 是ハ勅令案ニ關スル重大ナル事項デアツテ、而モ從來各種ノ委員會ト云フモノガオ座ナリデアリ、效果ヲ擧ゲテ居ラナイ、前ノ審査委員會ノ如キハ商工大臣ハ御承知カドウカ、十名ノ中九名ハ各廳ノ官吏デアツテ、保險學者ガ唯一人、而モ實情ニ必ズシモ明カデナイ保險學者ガ唯一人、

委員長ハ商工次官デアル、斯ウ云フヤウナ
コトヲ審査會ヲ拵ヘテモ、實ニハ面白ク
ナイ、政府ノ總テノ委員會ニ對スル要望デ
アルト同時ニ、特ニ斯ノ如キ新ナル委員
會ニ付キマシテハ、才座ナリニ一人位入レ
テモ何ニモナラス、相當數ノ專門家ヲ網羅
スルト云フコトヲ、特ニ期待シ要望スル所
デアリマス、商工大臣ハ左様ナ御方針デ
アルカヲ重ネテ伺ヒマス

○藤原國務大臣 重ネテ御答致シマス、只
今御質問ノ通りノ積リヲ以テ、遺憾ノナ
ヤウニ致シタイト存ジテ居リマス

○松村委員 第八ニ豫算ノコトヲ一括伺ヒ
マス、茲ニ前ノ大戰時ノ再保險ニ於テ相當
利益ヲ擧ゲタ、今日マデノ補償制度モ亦相
當ノ利益ヲ擧ゲテ居ル、尤モハ照國丸ガ
沈没シタ後ニヤツタノデアルカラ、萬一照
國丸ガ沈没スル前ニ再保險國營ヲヤツテ居
ルナラバ、照國丸ダケデモ五百万圓弱一週
ニ支拂ガ起ツタ、斯ウ云フ風ニ、此ノ豫算
算定ノ基礎ト云フモノガ、非常ニ難カシ
ノデアルガ、本案提出ニ當ツテ豫算算定ノ
基礎ハ一體ドウデアリマス、大藏省ト交渉
中ナラバ、其ノ金額ハ擧ゲラレナクモ、大
體ノ豫算算定ノ基礎方針ヲ伺ヒマス

○牧政府委員 豫算編成ノ方針ニ付テ大體
申上ゲマス、此ノ國營再保險ハ、農林省ト
カ厚生省所管ノ他ノ國營保險ト同ジヤウニ
シタイト考ヘマシテ、別途ニ損害保險國營再
保險特別會計法案ヲ提出シマシテ、御協賛ヲ
得ルコトニナルト考ヘテ居リマス、大體ノ
方針ヲ申上ゲマス、此ノ制度ノ趣旨ト致
シマシテ、採算ヲ無理シテ實施セントスル
モノデアリマスカラ、豫算面ニ於キマシテ
モ、一應損失ヲ見込ムコトシテ居ルノデ

アリマス、其ノ不足分ニ付キマシテハ、借
入金デアルトカ、又ハ一般會計カラノ受入
金ヲ以テ賄フ積リデゴザイマス、編成ノ仕
組ヲ大體申シマス、特別會計ニ於キマシ
テハ再保險料、一般會計ヨリノ受入金、借
入金ト云フナヤウモノヲ歲入ト致シマシテ、
再保險金、再保險料ノ還付金、借入金ノ償
還金及ビ利子、一般會計ヘノ繰入金、事業
費等ヲ歲出トシテ、特別會計ヲ組ンデ居ル
譯デゴザイマス、其ノ詳細ニ付キマシテハ
本法案ヲ提出ノ時ニ更ニ詳シク申上ゲタイ
ト思ツテ居リマス

○松村委員 只今大藏省ト折衝中デアアルカ
ラ、是以上ハ突進ンデ伺ヒマセヌガ、特別會
計ニ不足アリシ場合ノ捻出方法ニ付テハ、可
ナリ注意サレテ豫算ヲ立テラレテ居ルヤウ
ニ見受ケルガ、大體收支ノ狀態ハ多少損失
ヲ見越シテ、左様ナ一般會計ヨリノ受入又
ハ借入ト云フナヤウコトヲ、豫想シテ居ラ
レルノデアアルカト云フノガ第一點、第二點
ハ剩餘ガアツタ場合ニ、其ノ剩餘金ノ處分
方法ハドウデアアルカ、此ノ二點ヲ御同致シ
マス

○牧政府委員 只今御説明申上ゲマシタ通
リニ、相當金額ノ損失ヲ見込ンデ居リマス、
相當大キイ金額デゴザイマシテ、保險事故
ガ發生致シマシテ、相當ノ支出ヲ爲ス場合
ニ、之ニ應ジラレラケル損失ハ見込ンデ
居ル積リデゴザイマス、尙ホ剩餘金ニ付キ
マシテハ、特別會計法上此ノ剩餘金ヲ積立
テテ置キマシテ、將來不足アル時ニ、是カ
ラ補足スルコトヲ法案ニ明瞭ニシテゴザイ
マス

ガ、剩餘金全部ヲ積立テルト云フ趣旨デア
リマス、剩餘金ノ一部ヲ積立テルト云フ
趣旨デアリマス、ト云フノハ大體保險契
約、殊ニ戰時保險ノ再保險ノ如キハ、戰爭
ノ經過ニ依リ、何時如何ナル大キナ損害ガ
起ルカモ知レナイ、隨テ保險會社ノ過去ノ
經驗實績カラ言フナラバ、或ハ三年、或ハ
五年、相當期間ヲ平均シテ損失ノ「バラ
ンス」ヲ取ルノダ、ソレダカラ剩餘金ガアツ
タ場合ハ、其ノ大部分ヲ積立テテ置クト云
フ特別會計ノ仕組デナイト、今年剩餘ガア
ツテモ、來年戰爭ガ非常ナ危險ニナツタ場
合ニハ、今度ハ中々其ノ損失ノ出所ガナイ、
是ガ民間デアアルナラバ、自由適宜ノ會計方
法ヲ取ルコトガ出來ルノデアアルガ、政府デ
ハ其ノ自由裁量ノ餘地ニ乏シイ、隨テ此ノ
剩餘金全部ヲ積立テルト云フ方針デアアルナ
ラバ、而モ長イ期間ニ亙ツテ、相當「バラ
ンス」ヲ取ルコトガ可能デアアルガ、其ノ一
部分ヲ僅ニ積立テルト云フ方法デアアルナラ
バ、實際ノ效果ハ難カシイ、難カシイト後
年度ニ於テ非常ナル損失ヲ受ケタル時ニ、
收支ノ「バランス」ガ立タナクナル、併シ剩
餘金全部ヲ積立テルトハ、特別會計ノ性
質上大藏省ハ許サナイ筈ダ、剩餘金ヲ積立
テル限度、内容ニ付キ政府ノ大體ノ方針ヲ
伺ヒマス

十分明瞭ニナツテ居ルト考ヘマス
○松村委員 是ハ商工大臣ニ於カレテモ、
重大ナルコトデアツテ、特別會計ノ性質上、
假ニ非常ナ大キナ剩餘ガ出タ場合ニ、其ノ
全部ノ積立ヲ大藏省ガ同意スルカドウカ、
非常ニ大キナ問題デアアル、又餘リ剩餘ガ出
ルト云フヤウナコトハ、考ヘヤウニ依ツテ
ハ、採算ノ根本方針ガ杜撰デアルト云フコ
トニモナル、民間ノ會社ナラ、ソコハ自由
裁量ノ餘地ガアルガ、大藏省ト折衝セラレ
ル場合ニ於テ、特ニ考慮サレマシテ、本法
ノ施行、運用上萬遺漏ナキコトヲ期セラレ
マシテ、折衝セラレンコトヲ要望致シマス、
今ノ局長ノ答辯ダト、剩餘金ヲ全部積立テ
ル、又事業ノ支出ニ付テモ特殊ナル計算法
ヲ取ルト云フノダ、洵ニ良イヤウデアアルガ
果シテ大藏省ハ斯様ナコトヲ承知サレタノ
カドウカ、若シ御答辯ガ出來ルナラバ、政
府トノ折衝ニ付テハ、斯ウ云フ重點ニ付テ、
既ニ交渉済デアアルカドウカヲ重ネテ伺ヒマ
ス

○藤原國務大臣 只今政府委員ヨリ御答致
シマシタ方針ニ依ツテ、大藏省ト折衝ヲシ
テ居ルノデアリマシテ、商工省ト致シマシ
テハ、只今政府委員ガ御答シタヤウニ纏マ
ルコトヲ期待シテ居リマス、其ノ點ダ
ケ御承知置キ願ヒタイト思ヒマス

○松村委員 是ハ重大ナルコトデアツテ、
大藏省ノ從來ノ方針ト云フカ、慣例ニ依ル
ト中々剩餘金ヲ全部積立テルト云フコトハ
認メナイ、認メナイト、本法ノ運用上非常
ノ支障ヲ來スノデアアルカラ、是ハ特ニ重點
ヲ置イテ、御折衝アラシコトヲ希望致シマ
ス、簡單ニ纏マルナドト、單純ニ考ヘルコト
ハ時期ガ早イト考ヘテ居リマス、最後ニ總

括シテ申上ゲマス、今大體質疑應答ノ通り、
本法ノ施行ハ政府ノ期待スルガ如ク單純ナ
モノデハナイ、此ノ運用如何ニ依ツテハ業
界ニ被保險者、荷主各方面ニ、貿易進
展ノ上ニ容易ナラザル結果ヲ惹起スノデア
リマスカラ、多年ノ商慣習ヲ特ニ尊重シ、
斯業ノ國際的進展ヲ阻碍セザルヤウ、特ニ
政府ノ慎重ナル注意ヲ要望致シマシテ、私
ノ質疑ヲ終リマス

○井上委員長 此ノ法案ノ質疑ニ付テハ、
今日ハ此ノ程度デ止メマシテ、討論ガアル
ガラウト思ヒマスカラ、明後日マデニ此法
案ニ對スル各派ノ態度ヲ御決定願ツテ、討
論採決ニ入リタイト思ツテ居リマスカラ、
ドウカ各位モ其ノ御積リデ御願致シマス

○最上委員 午後大臣ガ出ラレマセヌケレ
バ、此ノ際關聯シテ十分ダケ質問ヲ御許願
ヒマス

○井上委員長 ソレデハ最上君

○最上委員 本日新聞紙デ拜見シタノデア
リマスカ、商工省ニ於テハ、豫テ中小商工
業者ノ福利増進ノ爲ニ、物品販賣業統制法
案ヲ提案サルベク、既ニ大體法制局トノ間
ニ案ノ成立ヲ見テ、昨日閣議ニ之ヲ付議サ
レタサウデアリマス、聞ク所ニ依ルト、本
案ヲ本議會ニ提出シナイヤウナ御意向ノヤ
ウデアリマスガ如何デス、大臣ハ就任以
來、中小商工業者ノ振興ニ對シテ非常ニ御
熱心デアリ、又現ニ商業組合法案ノ改正等
ヲ出シテ居ル、然レニ一般中小商工業者ガ
物品販賣業統制法案ヲ期待シタノデアリマ
スカ、何故ニ本案ヲ今議會ニ提出スルコト
ヲ御止メニナツタノデアリマスカ、ソレニ
付テ御辯明ヲ願ヒタイ

○藤原國務大臣 本法案ヲ議會ニ提出スル

コトハ、商工省トシテハ希望ヲ持ツテ居ル
ノデアリマスカ、色々ノ都合ニ依リマシテ、
少シ其ノ決定ヲ延期致スヤウナコトニ相成
ツタノデアリマス、併シマダ此ノ法案ヲ議
會ニ提出致サナイト確定致シテ居ル譯デハ
ゴザイマセヌ、内部的ニ色々ノ手續ヲ盡シ
テ考慮シテ居ルノデアリマスカラ、左様御
承知ヲ願ヒタイ

○最上委員 只今ノ辯明デ、本案ヲ本議會
ニ提出シナイノデハナイト云フコトダケ
ハ、大體諒解シタノデアリマス、併シ吾々
ハ動モスルト上ニ厚ク下ニ薄イヤウナ感ヲ
致スノデアリマス、譬ヘテ申シマス、肥
料デアルトカ、「マツチ」デアルトカ、石灰デ
アルトカ云フヤウナ、一部ノ財閥資本家等
ニ對シテハ種々ナ政策ヲ政府ハ講ゼラレル
ニモ拘ラズ、中小商工業者ニ對スル僅カナル
法案ニ對シテ、之ヲ中止スルト云フガ如
キコトハ甚ダ事變下ノ今日、面白カラザル
コトデアルト思フノデアリマス、是非トモ
大臣ハ今議會ニ本法案ヲ提出スルヤウ、最
善ノ努力ヲ盡サレンコトヲ希望致シマス、
第二ハ商工省ハ既ニ經濟會議所法ヲ制定シ
テ、本議會ニ之ヲ出ス意向デアツタヤウデ
アリマス、御承知ノ如ク現在ノ商工會議所
ハ、吾々カラ見ルト、甚ダ現時ノ商工業者
ニ對スル福利施設トシテハ一致シテ居ラナ
イ、是ハ一部大都市ニ於ケル所ノ商工業者
ノ發達増進ヲ圖ルノミデアツテ、他ノ中小
都市、又ハ町村等ノ商工業者ニ對シテハ、
何等關聯シテ居ラナイヤウニモ考ヘラレル
ノデアリマス、政府ニ於テハ今議會ニ經濟
會議所法案、所謂商工會議所ノ改正法案ヲ
出サレル意思ガアルカドウカ、之ヲ御聽キ
シテ置キタイノデアリマス

○藤原國務大臣 會議所法案ニ付キマシテ
ハ、長イ間ノ歴史ヲ持ツテ居リマシテ、民間
ニ於テモ相當ニ此ノ法案ニ付テノ贊成モア
リ、熱心ニ希望シテ居ラレル向キモ甚ダ多
イコトハ、政府ニ於テモ能ク承知致シテ居
リマス、同時ニ政府ニ於テモ、此ノ法案ヲ
出シタイト思ツテ、色々努力ヲ拂ツテ今日
マデ參ツタノデアリマスカ、色々ノ都合ニ
依リマシテ、モウ一遍再檢討ヲ致シテ見ナ
ケレバナラナイヤウナ事情モアリマスノデ
目下議會ノ會期モ段々切迫シテ參ツタコト
デモアリマスカラ、急イデ態度ヲ決定シタ
イト思ヒマシテ、慎重ニ調査ヲ進メテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、其ノ點然レク御
諒解願ヒタイノデアリマス

○最上委員 只今大臣ノ御話ニ依ルト、更
ニ調査研究ヲ重ネルト云フ御意向デアリマ
スカ、既ニ會期モ十數日ニナツタノデアリ
マスカラ、今日ノ場合私ハ大臣ノ御答辯ヲ
臆測スルト、今議會ニハ間ニ合ハスト解釋
シテ差支ナイノデセウカ、ドウデセウカ

○藤原國務大臣 出來ルナラバ本議會ニ間
ニ合フヤウニ致シタイト思ツテ、急イデ居
リマスカウナ内情デゴザイマス

○最上委員 モウ一點大臣ニ御尋シテ置キ
タイノハ、今議會ニ商工省ガ提案セル色々
ノ議案ガアル、ソレヲ見テモ、所謂商業教
育ニ對スル觀念ガ、甚ダ缺ケテ居ルト思フ
ノデアリマス、今日各方面ニ於テ闇相場其
ノ他不正商人等ガ續出スルノハ、色々ノ原
因ガアリマセウガ、要スルニ商業道德ガ餘
リ徹底シテ居ラナイ爲デアルト思フノデア
リマス、之ニ付テ現在ノ商工省並ニ文部省
デハ、實業教育ノ方面ニ意ヲ用ヒナイヤウ
ニ思フノデアリマス、先日稅制委員會ノ際、

大臣ガ斯ウ云フコトヲ申サレテ居ル、商人
ハ元値々々デ藏ガ建ツ、是ハ大臣ガドウ云
フ意向デ申サレタカ知レマセヌガ、其ノ一
句ヲ引カレタノハ、川柳ニアル「商人ハ損ト
元値デ藏ヲ建テ」ト云フ一句カラ、御引例ニ
ナツタコトヲ思フノデアリマス、昔所謂土農
工商ト云ツテ、商人ハ至ツテ下ニ見テ居ラ
レタノデ、川柳子ガ商人ヲ侮辱シタ所ノ句
デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ句ヲ
大臣ガ議會ニ於テ持チ出サレテ居ルコトヲ
見テモ、如何ニ當局ガ商業道德ニ對シテ熱
心デナイカト云フコトガ分ルト私ハ思フノ
デアリマス、藤原商工大臣ハ、今日マデ實
業家トシテ私ハ尊敬ヲ拂ツテ居ル一人デ
ス、故ニ斯ウ云フヤウナコトヲ言ヒタイノ
デハナイノデアリマスカ、今日ノ我國ノ商
業方面ノ人々、或ハ工業方面ノ人々ヲ見ル
ト、動モスレバ商業教育ニ於テ缺ケテ居ル
點ガ多クアルト思フノデアリマス、大臣ハ
之ニ付テ今後ドウ云フ御意見ヲ持ツテ居リ
マセウカ

○藤原國務大臣 洵ニ御尤モナ御尋デアリ
マシテ、私カラ御答ラスル機會ヲ與ヘテ戴
イタコトヲ深く感謝致シマス、過日元値元
値デ藏ガ建ツト云フ諺ガアルト云フコト
ヲ、稅制委員會デ私が申シマシタノハ、古
來商人ノ間ニ元値々々デ藏ガ建ツト言ハレ
テ居ルコトハ、決シテ不道德ノコトデア
ルトカ、人ヲ欺クコトデアルトカ、商業道德
ニ反シテ居ルコトデアルトカ、サウ云フ意
味デ此ノ言葉ガ生レタモノトハ、私共ハ
信ジテ居リマセヌ、是ハ商賣人ガ元値デ物
ヲ買ツテ、元値デ賣ツテモ藏ガ建ツ、是ガ
商賣ノ原則デアルト云フコトヲ古來申シタ
ノデアツテ、元値デ買ツタノデ、元値デ賣

ルト云ツテ、人ヲ欺イテ巨利ヲ博スルト云フヤウナコトヲ意味シテ居ナイノデアリマス、商人ヲシテ人ヲ欺イテ不正ノ利益ヲ得セシメル爲ニ、私ガサウ云フ言葉ヲ引用シタト御考下サイマシテハ、私ノ趣旨ト非常ニ違フノデアリマス、是ハ申ス必要モナイノデスケレドモ、重大ナ問題デアリマスカラ申上ゲマスガ、例ヘバ一箱十圓ノ酒ヲ買ヒマシテ、サウシテソレヲ一箱十圓デ賣リマス、元値デ買ツテ元値デ賣ツテモ、箱ヲ自分ノ物ニシテ、中味ダケ十圓デ賣ツテ、箱ダケハ自分ノ物ニスルコトガ出来レバ、元値デ買ツテ元値デ賣ツテモ箱代ハ儲カル、總デサウ云フヤウナモノデアリマシテ、商賣上ノ我國ノ商習慣ニ於テハ、サウ云フコトハ非常ニ多イノデアリマス、先刻保險業ニ付テ商習慣ヲ尊重スルカト云フ御尋ガアリマシテ、政府ニ於テハ商習慣ヲ尊重スルト御答致シタノハ、ヤハリ商賣ト云フノハ、皆ソナ工合ニ微妙ナ所ニ、色々ナ働キヲ要スルコトガアツテ、努力ヲ要スルコトガアツテ、發達シテ參ツテ居ルノデアリマスカラ、隨テ其ノ元値々々デ藏ガ建ツト云フヤウナ諺ガ生レテ來タノデアルト、私ハ今尙ホ信ジテ居リマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、商工大臣ハ實業界ノ出身デアツテ、産業界ノ人デアルカラ、商業道德ナドヲ無視シテ、何デモ儲カリサヘスレバ宜イト云フ考ヲ持ツテ居ルト云フ、誤解ノ生ズルヤウナコトガ若シアツタトスレバ、非常ニ遺憾ニ存ジマス、私ハ甚ダ不肖デアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、斯ウ云フ時局ニ際シテハ、今日ノ我國ノ商工業ニ從事スル者ガ、一身ノ利益ハ無論考ヘナクチャナリマ

セスケレドモ、併シ國家ノ爲ニ時局ヲ乗切ル爲ニハ、自己ノ利益ヲ犠牲ニシテ國家ノ爲ニ盡サナケレバナラスト云フコトハ、上下一般ニ斯ウ云フ氣持ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、商工ノ行政ニ當ル以上ハ、無論商工大臣トシテ率先シテ其ノ範ヲ示シテ、サウ云フ指導精神ヲ持ツテ進マナケレバナラスト云フコトハ、是ハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、同時ニ商業教育、商業道德等ニ付キマシテハ、甚ダ不肖ナガラ自ラロデ色々ナコトヲ申スコトモ必要デアリマセウケレドモ、成ベク實踐躬行デ、サウ云フコトヲ政府自ラ範ヲ垂レテ、社會ノ指導階級ノ人ガ自ラサウ云フ範ヲ垂レテ、之ヲ指導シテ行ク、或ハ又必要ガアレバ言葉ヲ以テ、文章ヲ以テ指導ヲシテ行クト云フヤウナコトニハ、十分ニ努メル積リデアリマスカラ、其ノ點モドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○最上委員 只今大臣ガ元値々々ト云フコトヲ引例ニナツタノト、私ノ言ツタ元祿時代ノ川柳子ガ、商人ハ「損ト元値デ藏ヲ建テ」ト云フ引例トハ全然違フヤウデ、引例ヲ誤解シタカモ知レマセヌ、大臣ノ趣旨ガ分ツタカラ是デ質問ヲ打切りマス

○井上委員長 ソレデハ此ノ損害保險國營再保險法案ノ質疑ハ是デ一應打切りマシテ、明後日ハ討論採決ニ入りタイト思ヒマスガ、若シ質疑ガアリマスレバ、五分間程度デ御終結ヲ願ヒマス、ソレカラ損害保險國營再保險法ノ討論採決ガ濟ミマシタナラバ、商業組合法中改正法律案、輸出毛織物取締法案ヲ一緒ニ審議ヲ進メタイト思ツテ居リマス

○井上委員長 ソレデハ是カラ輸出毛織物

取締法案ヲ議題ニ供シマス——加藤政府委員 取締法案ヲ議題ニ供シマス——加藤政府委員

○加藤政府委員 輸出毛織物取締法案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、本法律案ハ、曩ニ本會議ニ於テ御説明申上ゲマシタ通り、輸出毛織物ノ海外市場ニ於ケル聲價ノ維持向上ヲ圖リ、輸出ノ伸張ヲ期センガ爲ニ、提案致シマシタモノデアリマス、御承知ノ通り本邦毛織物ハ、近年飛躍的ニ輸出ノ増進ヲ示シ、輸出品中特ニ將來性ニ富ム商品ト認メラルノデアリマスガ、本品ハ其ノ大部分ガ中小工業者ノ生産ニ係ル關係上、動モスレバ粗製濫造ニ陥リ、延イテハ粗惡品ガ輸出セラレマシテ、海外市場ヨリノ苦情ガ尠カラザル狀態デアリマス、若シ現狀ノ儘放置致シマストキハ、海外市場ニ於ケル聲價ヲ失墜シ、新規市場ノ開拓ハ勿論ノコト、既ニ獲得致シマシタ市場ヲモ喪失シ、輸出ノ伸張ヲ阻碍スル虞ガアルノデアリマス、仍テ政府ハ本品ニ關スル國營検査實施ノ業界ノ要望ニモ鑑ミ、國營ニ依ル精密嚴正ナル輸出検査ヲ實施シマスト共ニ、其ノ輸出ノ取締ヲ行ヒ、更ニ進ンデ品質ノ改善向上竝ニ製品ノ恆久化ヲ促ス目的ヲ以テマシテ、本法ヲ制定セントスル次第デアリマス、本案ノ要旨ヲ申上ゲマス、輸出毛織物ハ國營検査ニ合格シタルモノニ非ザレバ、販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ輸出スルコトヲ得ザルモノトシ、其ノ輸出ニ際シテハ、行政官廳ノ檢閲ヲ要スルコトヲ致シタノデアリマシテ、尙ホ主務大臣ハ取締上必要アリト認ムルトキハ、當該官吏ヲシテ保税地域、店舗、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢セシメ、物品、帳簿等ヲ検査シ得ルコトヲ致シマシ

テ、粗惡品及ビ不正品ノ輸出ヲ防止シ、輸出取締ノ完璧ヲ期セントスルモノデアリマス、以上本案提出ノ理由ヲ申上ゲマシタノデアリマスガ、何卒十分御審議ノ上御協賛アラントヲ望ミマス

○井上委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、明後日ハ午前十時ヨリ開會致シマス
午前十一時四十三分散會